

## 首都圏キット

# 業界の最新情報発信

日通 総研 大島氏の講演配信

関東1都5県の事業者  
で組織する首都圏キット  
利用協同組合（伊藤和夫  
理事長）が4日、新春公  
開講演会を組合員向けラ  
イブ配信した。例年各分  
野の専門家による講演を  
行い、見聞を広めてき  
た。コロナ禍で対面の機  
会が失われ、業界の最新  
情報を受けにくい状況が

続いて、見聞を広めてき  
た。コロナ禍で対面の機  
会が失われ、業界の最新  
情報を受けにくい状況が  
下落していることに懸念

主権者の伊藤理事長は  
あいさつで、コロナ影響  
による荷動き低迷でWe  
bKit成約運賃指数が

主権者の伊藤理事長は  
あいさつで、コロナ影響  
による荷動き低迷でWe  
bKit成約運賃指数が



大島氏の講演配信の様子

講演する大島氏。手前は伊藤理事長。4日

では組合員数500社（21年1月末現在360社）の達成を計画しており、「相互扶助の精神でKIT事業を中心

で行った。

皮切りではトラック運送業界の現状について述べた。「運転者不足感は以前に比べ緩んでいるが、入社しても厳しい現場に長続きせず不足は続

く。アフターコロナ後、本格的に運べない事態がくる」と警鐘を鳴らした。また昨年4月に告示された「標準的な運賃」について、「ドライバーの賃金を全産業の標準的な水準にし、さらに法令遵守できるように原価計算して参考になるよう示した運賃」と説明。「しっかり判断し導入する場合は届出が必要となる」と助言した。

講演会の講師は、日通総合研究所の大島弘明氏。物流を取り巻く環境変化、物流現場の働き方改革や標準運賃の動向などを中心に「のテーマ

に達成しよう」とあらためて呼びかけた。